



# 大津・SDGs 協働支援チャリティプロジェクト 報告書 2022



ご挨拶

1. 2022 年度のプロジェクトの成果

2. プロジェクトの目的と概要

3. 「社会的・経済的に困難な状況にある女性の支援事業」への支援

4. 事業成果・SDGs を伝える（啓発活動）

- ・ SDGs を育む（人材育成活動）

- ・ SDGs で集う（交流活動）

5. 事後評価アンケート

6. ご協賛企業、団体

## 大津市長 佐藤 健司

この度、市民、行政、企業、大学の四者協働による「大津・SDGs協働支援チャリティプロジェクト」が記念すべき5年目を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。

この間、新型コロナウイルス感染症により経験したことのない日々が続き、これまで当たり前であったことの大切さを再認識しました。その最たるものが「人と人とのつながり」です。

本市では「夢があふれるまち大津」の実現に向け、今年度はこれまで蓄積してきたことを活かし、大津市総合計画第2期実行計画に定めるリーディングプロジェクトやポストコロナ社会への取組を加速させる年としており、人とのつながりを大切にしながら皆様と共に取り組んでまいります。

今回のプロジェクトを通して得られたかけがえのない人と人とのつながりを大切にし、皆様方の活動がSDGsの基本理念である「誰一人として取り残さない」社会の実現や協働のまちづくりにつながることを願っております。



## 大津市市民部長 田中 鉄也

本市では、社会を取り巻く環境が多様化、複雑化する中で、誰もが主体的にまちづくりに参加し、将来にわたり助け合い、支え合う、協働のまちづくりを推進しています。

現在、「大津市協働のまちづくり推進計画」に基づき、市民・市民団体、事業者及び大学がネットワークを形成し、横断的に地域課題を解決する体制づくりと市民活動センターによる中間支援機能の充実を図っております。

こうした中、大津市市民活動センターにおいて取り組まれてきた「大津・SDGs協働支援チャリティプロジェクト」は、多様な主体が課題を共有し、連携・協力して事業に取り組むための基盤となるネットワークの形成につながるものと期待しております。

今回、「大津・SDGs協働支援チャリティプロジェクト 2022」に参加、御協力いただいた市民団体、事業者及び大学の皆様が、今後も交流・連携することで、より効果的で持続的なまちづくりが展開されることをご祈念申し上げます。

# 1 2022年度のプロジェクトの成果

## 四者協働の推進

多くの市民公益活動団体、企業、大学、大津市、滋賀県ならびに各種メディア等からご協賛やご協力いただき四者協働により事業を展開しました。



## SDGs に対する啓発・人材育成・交流活動の推進

2022年度はSDGs17の目標のうち、目標5の「ジェンダー平等を実現しよう」をテーマとして、「啓発・普及活動」「人材育成活動」「交流活動」に取り組みました。

新型コロナウイルス感染防止に十分配慮しながらイベントやフォーラムを開催し、多くの市民の参加と好評をいただきました。



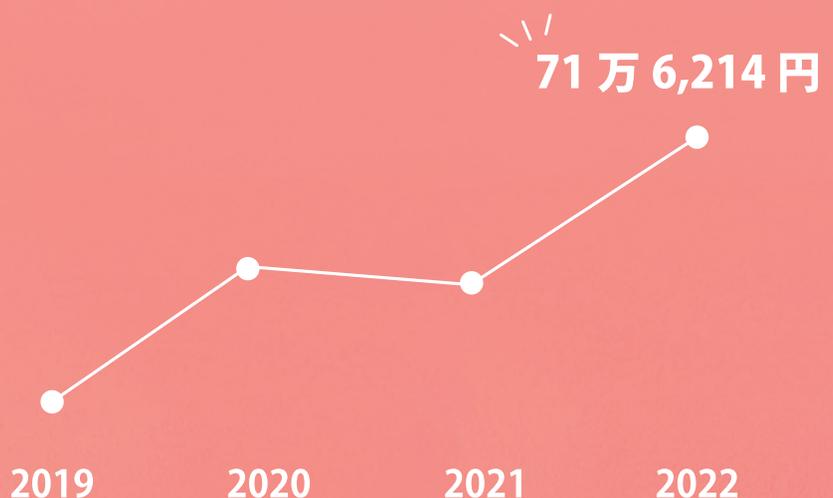
## コミュニティファンドと寄付支援・資源提供の体制づくり

大津市で社会的・経済的に困難な状況にある女性の支援に取り組む2団体を支援先として選定し、チャリティ事業と人材や体験プログラムのマッチングなどの支援を行いました。

チャリティでは多くの市民や協賛企業・団体、大学が資源を持ち寄って運営し、目標金額の3倍以上の716,214円が集まりました。

### 寄付金額の推移

2019年	27万4,396円
2020年	44万4,000円
2021年	42万0,000円
2022年	71万6,214円



# 2

## プロジェクトの目的と概要

### 2-1. 大津・SDGs 協働支援チャリティプロジェクトの背景

大津市では、2011年に施行した『大津市「結の湖都」協働のまちづくり推進条例』に基づき、三者協働によるまちづくりを推進しています。大津市市民活動センターは、市民公益活動の推進により地域社会に貢献することを目的とした公共施設です。近年、地域社会が抱える課題はますます増大し、市民公益活動団体はもとより、様々なセクターの協働が求められています。

2015年9月、国連に加盟する193か国が2016年から2030年の15年間で達成するためにSDGs(持続可能な開発目標)を採択しました。SDGsは17の目標と169のターゲットで構成されます。これらの目標やターゲットは、市民公益活動と深く関わり、特定非営利活動促進法に記された20の活動分野ともよく合致します。

当センターでは、2018年度から、SDGsをテーマとして、市民、行政、企業、大学の四者協働による地域貢献に取り組んできました。

### 2-2. プロジェクトの構成と展開

本プロジェクトは、「啓発・普及活動」「人材育成活動」「交流活動」の3事業を構成されています(図1)。

初年度の2018年度は「SDGsとは何か」をテーマにフェスタや講座などの事業を開催し、子どもから大人まで広く啓発する活動に重点を置きました。2019年度からは毎年SDGsの17の目標からテーマを選び、その目標について講座やフォーラムを開催して理解を深めることに努めました。

また2019年度からは「協働支援型寄付事業」として、各年度の目標に関連するテーマを設けて公募採択した市民公益活動に対して、四者協働によりチャリティ事業を展開しました。2020年度からはチャリティに加え、人材や体験プログラムなど資源のマッチング事業を進めてきています。(図2)

図1 3つの事業構成

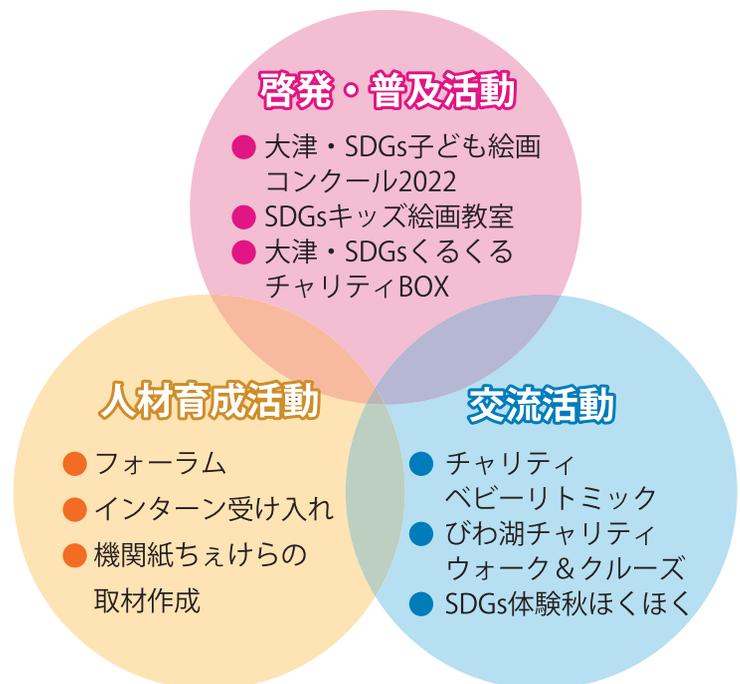
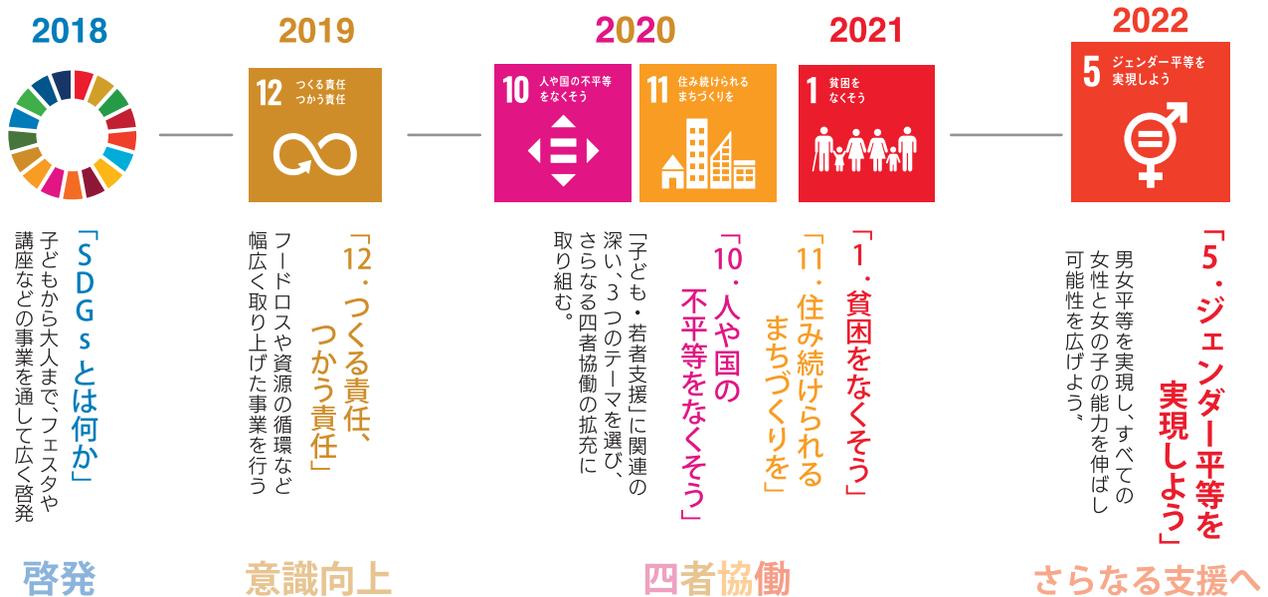


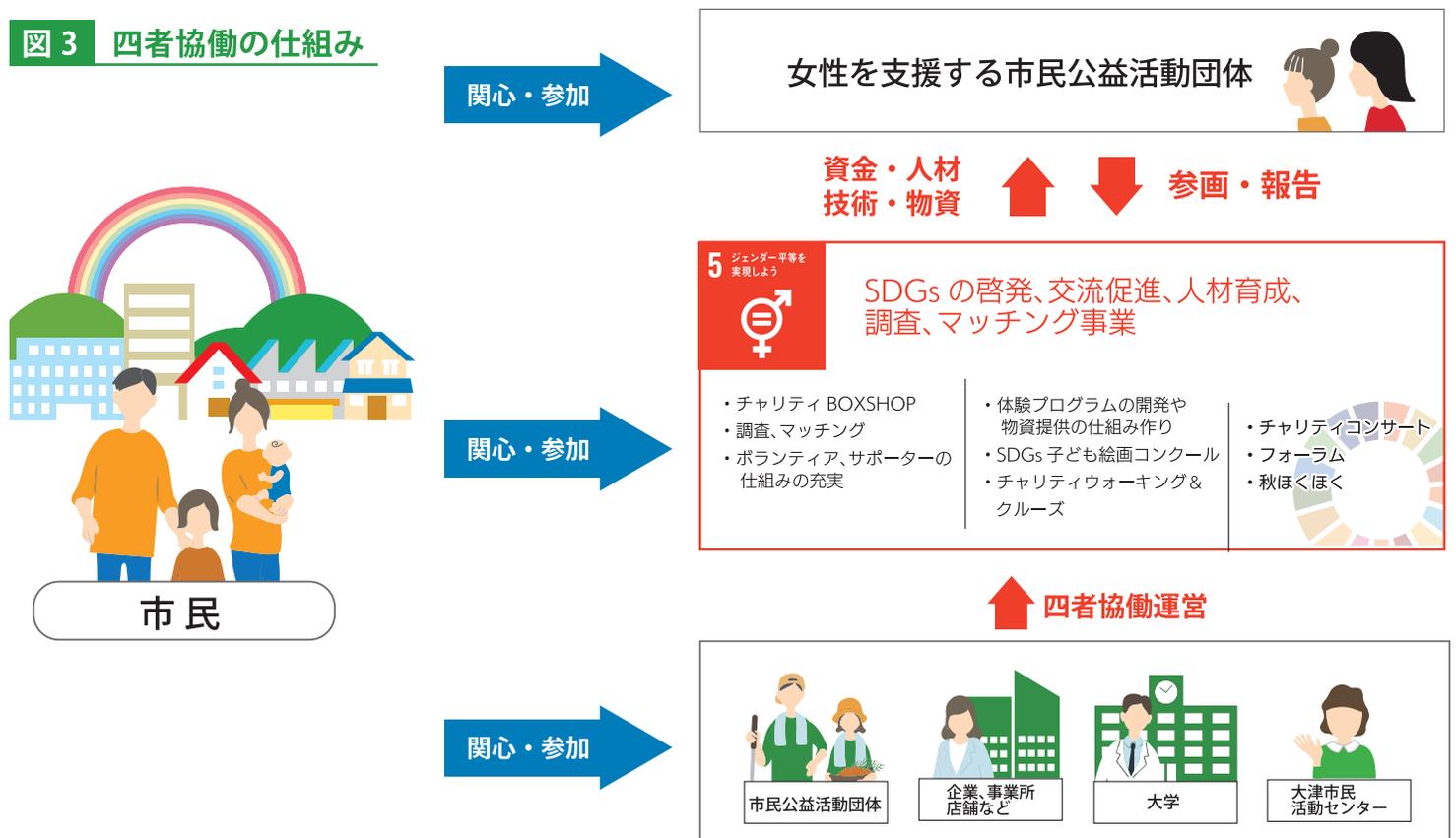
図2 これまでのプロジェクトのあゆみ



### 2-3. 四者協働(市民、行政、企業、大学)の仕組み

本プロジェクトは、市民、行政、企業、大学の四者協働により進めています。市民や市民活動団体、大学はボランティアや団体の持つ技術、企業は資金や生産物、サービスなど、それぞれが有する資源を持ち寄り、フォーラムやイベントなどを開催します。市民はこれらの事業に参加し、その参加費の経費を除く全てがチャリティとなります。(図3)

図3 四者協働の仕組み



## 3-1. 大津市で「社会的経済的に困難な状況にある女性の支援事業」への支援

2022年度は、SDGsの目標の中で、日本の達成度が低い「ジェンダー平等」を取り上げました。国際的にジェンダー平等の状況を見るジェンダーギャップ指数を見ても、日本はアジア諸国の中でも取り組みが進んでいるとは言い難い状況にあります。SDGsの目標年の2030年までに全ての女性が平等にいきいきと暮らせる社会づくりが求められています。

本プロジェクトでは、2022年6月に、大津市内で市民公益活動団体による「社会的経済的に困難な状況にある女性の支援事業」を公募し、7月に審査会を開催しました。その結果、「NPO法人リバティー・ウィメンズハウス・おりーぶ」と「社会福祉法人大津市母子福祉のぞみ会」の2団体の事業が採択されました。

2023年3月末、2022年度に集まったチャリティを2団体にお渡ししました。

### 支援先団体選定の審査会の様子



### 支援先団体への贈呈の様子



## 3-2. チャリティ支援事業

### ①NPO 法人リバティ・ウィメンズハウス・おりーぶ

#### おりーぶ 10 周年フォーラム



2012年に法人を設立し、利用者、家族、関係機関、おりーぶを支援してくださる方々に支えられて10周年を迎えます。

「家族」の問題をテーマに掲げたフォーラムを開催し、各種依存症やDV・虐待被害など様々な理由で生きづらさを抱える女性当事者、家族の体験談発表と専門家による講演を行い、女性の依存症に関する啓発と交流を進めます。



### ②社会福祉法人大津市母子福祉のぞみ会

#### 母子家庭の親子のプレゼント事業



社会福祉法人  
**滋賀県母子福祉のぞみ会**

利用者の方の中には経済的理由から年中行事やお誕生日などの特別な体験をされる機会が限られている方もいらっしゃいます。

そこで今回の寄付金を活用して、子どもたちの誕生日にお母様から花束をプレゼント、そして、母の日には子どもたちからお母様に花束とカードをプレゼントし、親子の絆を深める機会を提供します。



## 3-2. 資源のマッチングに取り組んでいます。

本事業では、支援先団体のニーズに即し、資源のマッチングに取り組んでいます。

NPO法人リバティ・ウィメンズハウス・おりーぶは、2023年2月のフォーラムでもパネリストとして登壇していただき、市内の市民活動団体などとの情報交換の場を提供しました。

また大津市母子福祉のぞみ会は、2023年5月の母の日のプレゼント事業を協賛企業やアーティストと協働して行います。



## 4-1. 大津・SDGs 子ども・絵画コンクール 2022

- ・表彰式 11/27 スカイプラザ浜大津  
(45 作品応募 受賞者 10 名)

今年度の SDGs のテーマである「GOAL.5. ジェンダー平等を実現しよう」を考える「男らしさ・女らしさより、わたらしい未来」を題材とした作品を、大津市内の小学校3年生から中学生を対象に募集しました。45 点の応募作品より大賞(市長賞)1点と協賛企業 9 社からの特別賞を選定し、11 月 27 日の表彰式で賞状と副賞を授与しました。

また全ての応募作品を大津市市民活動センターやイオンスタイル大津京、滋賀銀行で展示しました。



スカイプラザ浜大津にて絵画授賞式の様子



SDGs子ども絵画コンクール2022大賞作品

## SDGs 子ども絵画コンクール 2022 大賞

「手をつないでいこう。男女平等の世界へ」

## 受賞した子どもからのメッセージ

世の中には、「男の子だから」「女の子だから」と言われて差別されている子がたくさんいます。僕は世界中の子供たちが平等で幸せに暮らせるために今自分に何ができるのかを考えて、実行していきたいです。

## 4-2. SDGs キッズ絵画教室

- ・7/31・8/1,22 大津市民活動センター  
(参加者 18 名)

クイズ形式でSDGsについて学んだ後、水彩画の先生に表現技法を学びながら、SDGsをテーマに絵を描きました。



自由な発想で筆以外にも楽しくお絵描き

## 4-3. 大津・SDGsくるくるチャリティBOX

- ・(協賛企業等計 7 店舗に設置)

市民公益活動団体が生産したお菓子・農産物・文具・小物等を企業や団体のオフィスなどで社員向けに頒布し、価格の10%を寄付しました。



事業所などに提供している、くるくるチャリティBOX

# SDGs を育む（人材育成活動）

## 4-4.SDGs フォーラム「ジェンダー平等の社会に向けて」

(11/27 スカイプラザ浜大津 参加者 110 名)

フリージャーナリストの伊藤詩織氏を特別講師に招聘し、基調講演をいただきました。その後、支援先のNPO法人リバティール・ウィメンズハウス・おりーぶより山本良子氏、社会福祉法人大津市母子福祉のぞみ会より坂下ふじ子氏をパネリストにお迎えしてパネルディスカッションを開催しました。会場は満員となり、社会的、経済的に傷を受けた女性が語る安全な場が必要であることや市民の理解や支援があることについて議論が交わされました。伊藤氏、山本氏、坂下氏に暖かい拍手が送られました。



## 4-5.SDGs フォーラム「各国のジェンダー平等に向けて。NGO の今」

(2/2 大津市市民活動センター 参加者 26 名)

日本国際ボランティアセンターの広報・ファンドレイジンググループマネージャーの並木麻衣氏を特別講師に招聘し、基調講演をいただきました。また支援先団体のNPO法人リバティール・ウィメンズハウス・おりーぶの事例報告を交えながらパネルディスカッションを行いました。日本でも海外でも女性は不平等に置かれる傾向があること、社会全体で支援していく必要があることについて話し合われました。



## 4-6. インターンの学生による SDGs 講座

交流活動の「びわ湖チャリティウォーク&クルーズ」「秋ほくほく」では、滋賀短期大学の学生が、市民や子どもがSDGsについて学ぶプログラムを提供しました。クイズ形式で、学生ならではの視点が活かされたプログラムは子どもや親子づれに好評でした。



## 4-7. 「社会的経済的に困難な状況にある女性の現状や団体の取り組みについての情報発信

当センターの機関紙「ちえけら」にて、ジェンダー平等の状況や、支援先団体の取り組みなどについて特集を組み、情報発信を行いました。

### 参加者の声

#### ジェンダー平等の社会に向けて

- ・伊藤さんの講演やパネルディスカッションで、自分の傷と向き合う為には安全に語れる場が必要だと言うエピソードは大変共感できました。
- ・滋賀にこうした施設があることを知りませんでした。とても大切な拠点だと思うので、これからも頑張ってください。

#### 各国のジェンダー平等に向けて。NGOの今

- ・日本国際ボランティアセンターの並木さんのお話は分かりやすく、パネルディスカッションの「地元の意思で物事は変わる」というメッセージに勇気づけられました。

# 4

## SDGsで集う（交流活動）

### 4-8. 音楽絵本でリトミック

(8/1,12/2,2/3,3/3  
大津市市民活動センター 参加者のべ45名)

大津リトミックグループ協力の  
もと、ピアノの音に合わせて会場を  
動き回ったり、プロジェクターで  
絵本を大画面に写した絵本の読み  
聞かせを楽しみました。



### 4-9. キッズスポーツ教室

(9/21 大津市市民活動センター  
参加者45名)

アスリートスポーツクラブ協  
力のもと、飛んだり跳ねたり、  
体操をしたり、楽しく体を動か  
しました。



### 4-10. チャリティコンサート オードリーの昼下がり～フルートオーケストラの魅力～

(10/23 スカイプラザ浜大津 参加者110名)

地元滋賀県はもとより、世界で活躍されているフルートオーケス  
トラ集団「湖笛の会」による12本のフルートのみで構成されるチャリ  
ティコンサートを開催しました。

フルートの種類や音などについての解説も交えた楽しい内容でオー  
ドリー・ハップバーン出演の映画音楽が大変好評でした。



### 4-11. SDGs体験 秋ほくほく

(10/30 大津市市民活動センター  
6教室 参加者230名)

市民活動団体や事業所の協力により、段ボール  
プレイパーク、子ども体操教室、木工教室、水彩画  
教室、琉球国祭太鼓体験、子どものあいさつ教室を  
開催しました。

滋賀短期大学の学  
生によるクイズ形式  
のSDGs教室を子ど  
もたちが楽しみまし  
た。



### 4-12. びわ湖チャリティウォーク&クルーズ

(10/30 JR大津駅から大津港～琵琶湖クルーズ  
参加者200名)

JR大津駅からSDGsに関するクイズを楽しみな  
がら大津港までウォーキング、その後琵琶湖汽船  
のミシガンの就航を楽しみました。クイズを全問  
正解すると協賛企業より提供  
いただいた景品がもらえ、子  
どもたちに大好評でした。

近年、チケットは販売  
から約2週間で完売と  
なるほど市民に定着  
するイベントとなっ  
ています。



### 参加者の声

#### SDGs体験 秋ほくほく

- ・来年も開催してほしいです。

#### びわ湖チャリティウォーク&クルーズ

- ・いい季節に家族との楽しい思い出がくれました。
- ・気楽に楽しめて、子どもも大喜びでとても良かったです。

本事業に参加・協賛頂いた市民公益活動団体（サポーターを含む）、企業、行政を対象に事後評価を実施しました。市民公益活動団体からは9、企業からは15、大学からは1団体より回答を得ました。

## 5-1. 団体・組織の種別と地域貢献等の取り組み状況

### (1) 市民公益活動団体、サポーターの現状

本調査に回答した9の市民公益活動団体およびサポーター市民に「今年度、本事業「天津・SDGs協働支援チャリティプロジェクト2022」以外に、SDGsをテーマにした活動に取り組みましたか？」と尋ねたところ、「いいえ」が6、「はい」が3となった。市民公益活動団体やサポーターの本プロジェクト以外のSDGsへの取り組みは3割となった。

### (2) 企業のSDGsや地域貢献等への取り組み

本調査に回答した15の企業及び1大学が、これまで取り組んだSDGsやCSR、地域貢献活動の分野を見ると、「環境・自然保護・保全」が12、「地域のイベント」が10事業所が多い。（図1参照）本事業以外にSDGsに取り組んだ事業や取り組み、協賛等の有無については「ある」「ない」ともに8事業所であった。

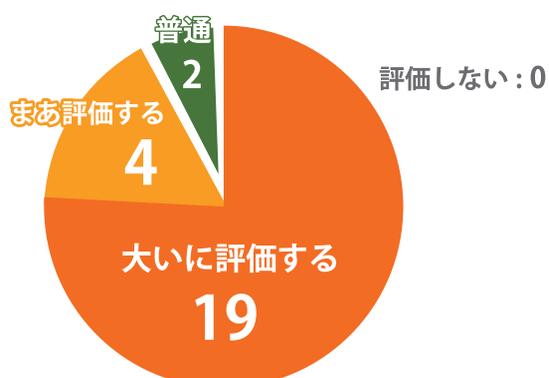


## 5-2. 本プロジェクトのテーマや内容には 88% 以上の市民公益活動団体・個人や企業が高評価

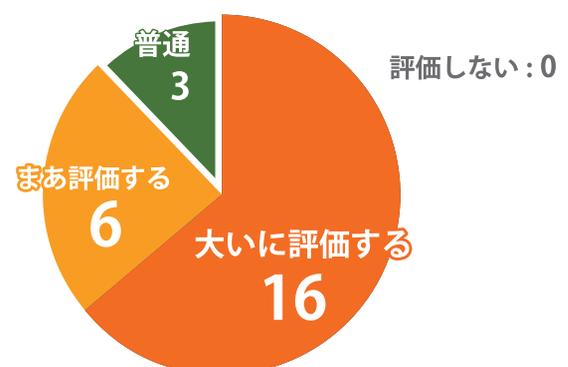
本調査に回答した9の市民公益活動団体およびサポーター市民、15の企業及び1大学に対して、今年度のプロジェクトやチャリティの成果について図2の4項目について尋ねたところすべての項目について88%以上の団体が、「大いに評価する」「まあ評価する」と回答した。自由記述では、【四者協働によりSDGsを推進できた】【テーマを「ジェンダー平等の実現」に絞ってよかった】などの声が寄せられた。

### 図2 今年度のプロジェクトやチャリティの成果について

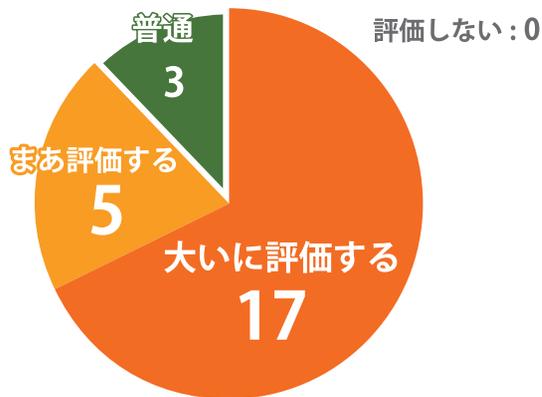
#### ① 四者協働によりSDGsに取り組んだ



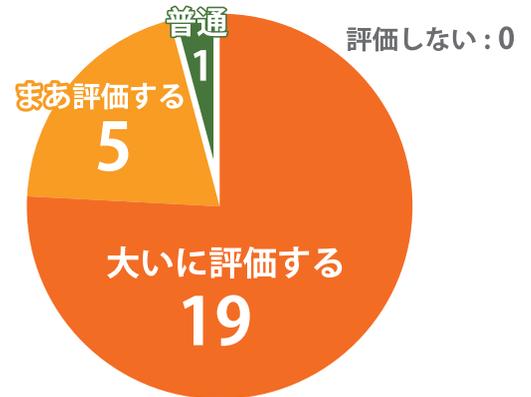
#### ② SDGsのテーマとして「目標5:ジェンダー平等の実現」を選んだ



③チャリティなど支援先として「社会的、経済的に不平等の状況に置かれた女性への支援を行っている団体を設定した」



④チャリティの目標額を達成した



## 自由記述

### 【四者協働により SDGs を推進した】

・四者協働、ジェンダー平等、寄附支援などの活動の成果は大変素晴らしいです。

### 【テーマを「ジェンダー平等」に絞った】

・ジェンダー平等は、とても重要な問題で、多くの人が正しい認識を持つべき問題の一つだと考えます。非常に意義の大きい活動がされたと感じます。  
 ・ジェンダー平等に向けての取り組みということで基調講演や情報発信をされていることは非常に大事だと思います。

・支援を必要としている団体にチャリティが届けられてよかったです。支援団体のことを知る機会になりました。

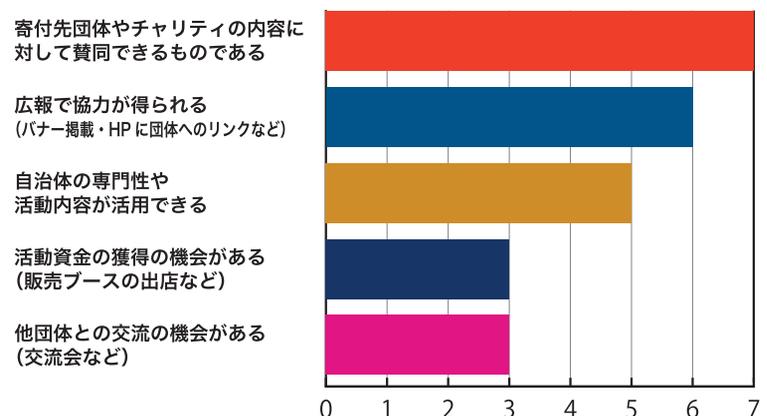
### 【チャリティが集まった】

・チャリティの目標金額の3倍の金額が集まったことは「大津・SDGs 推進協働プロジェクト 2022」が大きな支持を集めていることの表れだと思います。

## 5-3. 今後の SDGs や地域貢献において重要なのは「支援事業への賛同」

本調査に協力した市民公益活動団体および市民サポーターは、四者協働により地域貢献事業への協力で重要と認識する項目として、「寄付先団体やチャリティの内容に対して賛同できるものである」が最重要となっている。(図3参照)

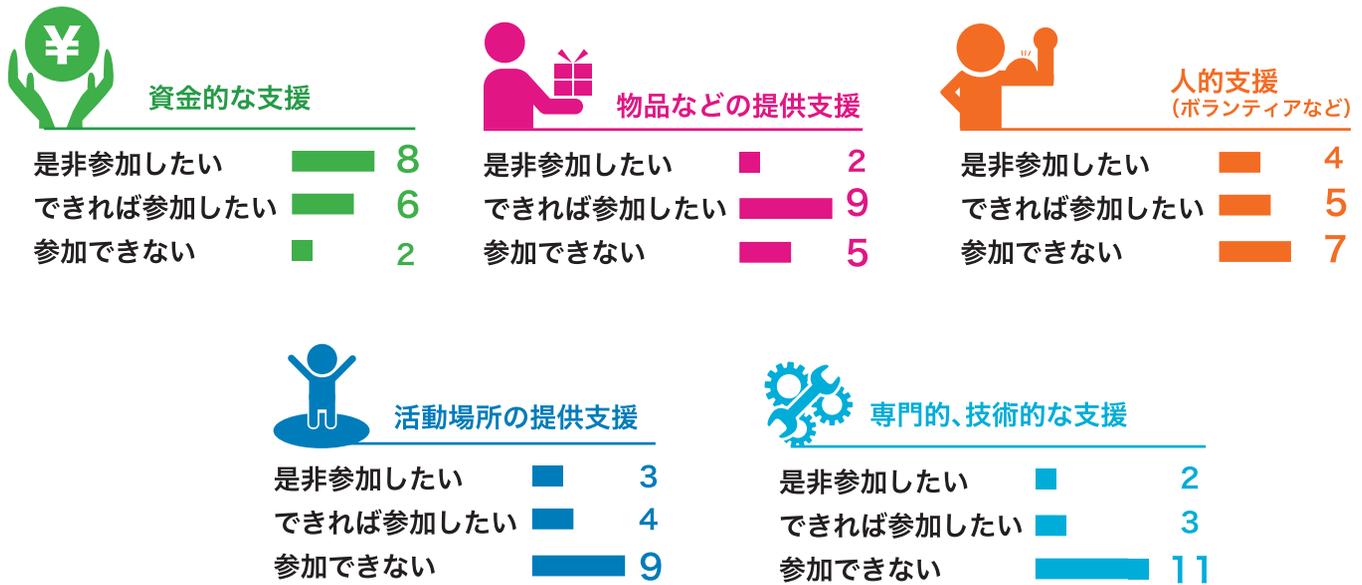
図3 市民公益活動団体および市民サポーターが、四者協働による地域貢献事業への協力で重要と認識する項目



## 5-4. 企業は四者協働での地域貢献事業では「資金的な支援」を検討したい傾向

本調査に協力した企業において、四者協働による地域貢献事業への参加について、図の5項目について尋ねたところ、「資金的な支援」で8事業所、「人的な支援」で4事業所が参加の意向を示した。

図4 今後の四者協働で貴社・貴団体が参加したいと思う項目について



## 5-5. 来年度の本事業への参加については 97% の団体や個人、企業が参加の意向

本調査に協力した市民公益活動団体および市民サポーター、協賛企業の13団体（53%）が「ぜひ参加したい」、11団体（44%）が「できれば参加したい」と回答した。自由記述では、【大津市市民活動センターには中間支援として推進してほしい】【ネットワークをつくってほしい】など、当センターが中間支援として機能を充実させていくことへの期待が寄せられた。



### 自由記述

#### 【大津市市民活動センターに中間支援を推進してほしい】

- ・SDGs や四者協働を推進する機関として地域を牽引してほしいです。
- ・チャリティやイベントなど今後も事業の目標を達成されることを期待します。
- ・団体からの発信だけでは叶わないことも四者協働により前に進む事もあると思うので、四者をつなぐ市民活動

センターのこのプロジェクトは素晴らしいと思います。

#### 【ネットワークをつくってほしい】

- ・情報共有などができればと思います。
- ・何らかの形で協力させていただけるのは嬉しく思います。今後も何かありましたら積極的に参加を希望しています。

## アインズ株式会社

代表取締役社長  
谷口 彰

## アインズ株式会社

私たちは、時代が求めるコミュニケーションツールでお客様に唯一無二の価値を提供することを目指し、社会・お客様・地域にとって『かけがえのない存在』となれるよう、全社員が一丸となり取り組んでまいります。

## 油藤商事株式会社

代表取締役  
青山 裕史まちのエコロジーステーション  
油藤商事株式会社

SDGs 7番目の目標「エネルギーをみんなに、そしてクリーンに」の取り組みとして、地域から集めた廃食油をリサイクル燃料「バイオディーゼル」に精製し、それを地域で使っていただく地域内資源循環を推進しています。

## 株式会社一花

代表取締役  
岩上 智佳子

「花育」の地域活動で、自然との関わりや創作の楽しさ、人との繋がりなど感性を豊かに育む機会を創出しています。また、母の日キャンペーンの売上の一部をプロジェクトに寄付することでSDGsの推進につながればと考えています。

株式会社  
大津給食センター代表取締役  
上田 泰史

お客様の食生活を健康的に演出することが私たちの使命です。安心、安全で、豊かな食材で作られた「食」は豊かな人間性を育てます。「食」の大切さ、楽しさを、お弁当を通してお伝えできればと思い日々の業務を行っています。

## 株式会社 叶 匠寿庵

代表取締役社長  
芝田 冬樹

## 叶 匠寿庵

叶 匠寿庵の本社「寿長生の郷（すないのさと）」では、里山環境で生物多様性を推進し、「しが生物多様性取組認証制度」の三ツ星を取得しています。これからも環境や地域を考え、課題解決に取り組んでまいります。

## 黒田紙業株式会社

代表取締役  
黒田 軒史— 古紙を大切にするリサイクル産業 —  
黒田紙業株式会社

廃棄物の減量と資源の再利用を自らの社会的な使命として、あらゆる古紙を「捨てない・埋めない・燃やさない」のリサイクル3ないシステムを推進しています。美しい地球と未来のために一緒にリサイクルを推進していきましょう！

## 小林事務機株式会社

代表取締役  
小林 弘和

## 小林事務機株式会社

私たちが働き生活している地域社会、更に全世界の共同社会に対して、私たちは「ありがとう」（感謝の心）を広め、豊かな社会創りに貢献します。

## 株式会社 滋賀銀行

総合企画部 サステナブル  
推進グループ長 山本 卓也

## SHIGA BANK

当行は、ESGファイナンスをはじめ、CO2排出量の管理ツールを開発・提供するなど、地域をサステナブルにする活動を行っています。これからも地域の皆様とともに、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

## 滋賀県信用保証協会

理事長  
西嶋 栄治

 きっかけは、その保証でありたい  
滋賀県信用保証協会

当協会は県内中小企業者の良きパートナーとして、信用保証制度の機能を生かして企業の課題解決や持続可能性向上、脱炭素に寄与する取り組みを行っています。今後もSDGsの普及や企業価値向上に貢献してまいります。

学校法人純美禮学園  
滋賀短期大学ビジネスコミュニケーション学科  
学科長 若生 真理子、江見 和明

 SHIGATAN  
Shiga Junior College

滋賀短期大学では、地域に貢献できる人材の育成に力を入れております。貴センターのSDGsイベントに参加することは、学生にとって大変貴重な経験になっております。ありがとうございます。

## 株式会社 昭建



取締役社長  
中村 智



昭建は総合建設業を基軸に事業展開し、昨年設立から90年を迎えました。今後も「豊かな社会環境の創造に貢献する」の精神のもと、豊かな水や緑を有する郷土を発信源として持続可能な社会の実現に取組み、百年企業を目指します。

## 生活協同組合 コープ自然派京都



理事長  
坂本 真有美



消費者が主体的に運営に関わり、生産者と顔の見える関係を築くことにより、農薬や添加物などを避け、生産者の健康、土壌など環境を守り、持続可能な生産、消費を実現しています。

## 正和設計株式会社



代表取締役  
田中英幸



当社は、国民の安心・安全で快適な生活を支える社会資本整備に貢献し、近年頻発する自然災害等から国民を守る防災・減災、国土強靱化計画及び、社会資本の維持管理・更新等の事業に取り組んでいます。

## 大樹生命保険 株式会社



大津営業部 営業部長  
兼第一CS室長 松永学

## 大樹生命保険株式会社

当社は生命保険という長期に亘る保障を提供しています。未来永劫、途切れる事なく十分なサービスをお客様に提供し続ける事が当社にとり最も重要なCSRです。これからも当社に関わるステークホルダーに対し責任を果たしていきます。

## 琵琶湖汽船株式会社



代表取締役社長  
川添 智史

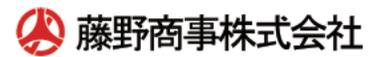


びわ湖との共生を環境方針に定める当社では、びわ湖環境学習体験クルーズや、鮎ずし作り体験クルーズなどのカルチャークルーズを通じて、びわ湖の環境保全活動および地域の活性化に取り組んでいます。

## 藤野商事株式会社



代表取締役社長  
藤野 滋



FUJINO GROUP

当社は「環境への取り組みは企業の責務」と考え、取り組みを進めています。淡海エコフオスター制度に登録、月1回清掃活動を実施。まもなく200回となります。また2015年からペットボトルキャップ回収を実施、昨年は1.7トンに達しました。

## 株式会社 まちづくり大津



代表取締役  
山本 勝義



都市再生推進法人として様々な支援制度を活用しながら大津市、地域住民、民間事業者との三者協働により中心市街地のにぎわいや魅力向上を図り、「住み続けられるまちづくり」をめざしています。

## 株式会社 よつ葉ホームデリバリー京滋



代表取締役  
光久 健太郎

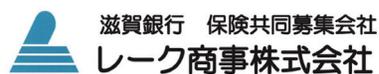


私たちよつ葉は、食は自然の恵み・人も自然の一部という価値観に重きを置き、自然との関わりを大切に、安心して暮らせる社会を求め、その実現に向けて行動します。

## レーク商事株式会社



取締役社長  
森本 勝



当社は、滋賀銀行のパートナー企業として環境にやさしい企業活動を展開している保険代理店です。「輝く未来へ、レーク商事にできること」を合言葉に地域社会の課題解決に貢献して参ります。



## 株式会社 平和堂

当社では地域共創の取組として「食」という観点から地域の人々の健康づくりを考え、持続可能な地域の活性化を目指しています。本事業を通じて、地域活性化の一助となればと考えています。

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

## 謝辞

2018年度より開始した本事業は、市民、行政、企業、大学の四者協働によるSDGsをテーマとした地域貢献を進めるものです。

2022年度は5年目の取り組みとなります。規模は大きくはありませんが、顔の見える関係で、温かいご協力・ご支援のもと、市民にも定着してきたように思われます。「ジェンダー平等に取り組む意義」について評価をいただくことも多く、未だ遠い道ではありますが、小さな一歩となれましたら幸いです。

2023年度も「大津・SDGs 協働支援チャリティプロジェクト2023」と題し、四者協働による地域貢献を進めて参ります。引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2023年 5月 大津市市民活動センター

プロジェクト主催・報告書発行

## 大津市市民活動センター

〒520-0047 滋賀県大津市浜大津 4-1-1 明日都浜大津 1F

TEL 077-527-8661

E-mail [moveinfo@movementotsu.com](mailto:moveinfo@movementotsu.com)

FAX 077-527-8662

HP <http://movementotsu.com>